

The 34th Yokoze Music Festival

第34回

ヨコゼ音楽祭

超絶技巧の男が集う
心躍る真夏のタンゴ



ヴァイオリン
石田泰尚
YASUNAO
ISHIDA



ピアノ 中島剛
GO
NAKAJIMA



ギター
大坪純平
JUNPEI
OHTSUBO

コントラバス
高橋洋太
YOTA
TAKAHASHI

名曲コンサート

三浦一馬
バンドネオン五重奏

キンテート

古典タンゴ&ピアソラ

- ・ロドリゲス:ラ・クンパルシータ
 - ・ガルデル:想いの届く日
 - ・ピアソラ:ブエノスアイレスの夏
 - ・ピアソラ:アレグロ・タンガービレ ほか
- (全編曲:三浦一馬)

バンドネオン 三浦一馬
KAZUMA MIURA

2019.8.11(日)祝
横瀬町町民会館ホール
開場/15:30 開演/16:00

チケット Ticket ※未就学児は入場できません

◆全席指定<一般>3,000円 <高校生以下>2,000円

◆チケットのお求め先 5月18日(土)より発売開始

横瀬町町民会館 ☎0494-22-2267 横瀬町教育委員会 ☎0494-25-0118
 矢尾百貨店(5F) ☎0494-24-8080 秩父楽器サービス ☎0494-24-6791
 小石川書店 ☎0494-22-5486

©Shigeto Imura

ふれあいコンサート

8.10(土)

横瀬町町民会館ホール
開場/17:00 開演/17:30

ゲスト

バス:杉尾 真吾
ソプラノ:相原 里美
ピアノ:中野 裕子

出演

◆横瀬小学校かしの木合唱団
◆横瀬中学校吹奏楽部
◆横瀬コーラスサークル

入場料

100円 ※服装は非公式です。入場券は横瀬町町民会館窓口で販売します。

主催/ヨコゼ音楽祭実行委員会 共催/横瀬町・横瀬町教育委員会

お問い合わせ/ヨコゼ音楽祭実行委員会事務局(横瀬町町民会館内 八木原優子) ☎ 0494-22-2267 横瀬町ホームページ(広報よこぜ) <http://www.town.yokoze.saitama.jp>

名曲コンサート

三浦 一馬 バンドネオン KAZUMA MIURA



1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。07年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演でマルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。08年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。11年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、アルゲリッチやバシュメットら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。12年にはマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。15年出光音楽賞(14年度)を受賞。16年にはデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフ作曲「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

17年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任。2018年10月24日キングレコードより、全編ピアソラ作品によるキントート(五重奏)編成の最新盤「Libertango」をリリース。同年12月1日から公開のドキュメンタリー映画「ピアソラ 永遠のリベルタンゴ」の広報大使を務める。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製「Alfred Arnold」。

ヴァイオリン 石田泰尚 YASUNAO ISHIDA



神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団を経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」として現在までその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞した。神奈川フィルや各地のオーケストラとソリストとして共演し、全国でソロコンサートも行う。幅広いレパートリーを誇るソリストとしての顔も持つ。自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」、新しいスタイルのピアソラを追求した「トリオリベルタ」、ピアニスト及川浩治の呼びかけで結成されたピアノトリオ「Bee」、CoolなメンバーによるHotなステージの「Super Trio3 C」など、様々なユニットでも独特の輝きを見せる。結成時からのメンバーとして22年目を迎えたYAMATO S. Q.では、唯一無二のヴァイオリニストとしてグループの方向性を決定づけてきた。3枚のソロアルバムの他に、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全曲集、チェリスト山本裕康氏とのDVD『Duo』など録音も多い。その豊かな音楽性は「繊細で優美な音楽をさらにきめ細やかに表して、浄化された深い詩情が香り立つ魅惑的な演奏」(音楽の友)など各方面から高く評価されている。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller
公式サイト<http://musiciansparty.jp/artist/ishida/>

コントラバス 高橋洋太 YOTA TAKAHASHI



1982年青森市生まれ。桐朋学園大学、同研究科修了と同時に2006年、東京都交響楽団に入団、コントラバスを池松宏、山本修、中田延亮、D・マクティア、E・ヴァイセンシュタイナー、J・リノヴィツキの各氏に師事。2005年、青森市民文化顕彰受賞。2007年、東京・青森にてデビューリサイタルを開催し絶賛を博す。アフィニス夏の音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ、東京・春・音楽祭-東京のオペラの森、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトに参加。現在、東京都交響楽団コントラバス奏者として活動する他、桐朋学園大学特別招聘講師、オーケストラMAPSメンバー、ソリストとしても各地でリサイタル、デュオの演奏会を開催するなど、ソロ、室内楽と幅広く活躍している。
公式ブログ <http://takahashiyota.seesaa.net/>

ギター 大坪純平 JUNPEI OHTSUBO



15歳よりエレキギターを、16歳よりクラシックギターを始める。エリザベト音楽大学卒業。これまでにギターを長野文彦、徳武正和、佐藤紀雄の各氏に師事。第34回日本ギターコンクール最高位のほか、第45回クラシックギターコンクール、第1回イーストエンド国際ギターコンクール、第2回パン・パンフィック現代音楽コンクールソロ部門、第26回日本重奏ギターコンクール等でそれぞれ上位入賞。在学中にリサイタルを開催し、以降国内外の現代音楽を数多く取り上げ新作初演も意欲的に行う。委嘱作品も多数。「田中聡ギター作品全曲演奏会」や「久留智之とギターの世界」など一人の作曲家に焦点を当てたリサイタルを開催し好評を博す。委嘱・献呈された作品楽譜はSONICARTSより出版されている。2017~2018年にかけて、愛知県立芸術大学にて作曲家に向けたギター作品ワークショップ・レクチャーを行う。現代音楽ギターデュオ「対話」、ギターとサクソフォンのデュオ「TRAVESSIA」、ギター6人による「EXTRAÑO GUITAR FANCIÓN」などのユニットで活動。2011年より三浦一馬タンゴ五重奏参加。同氏主宰タンゴオーケストラ東京グランドソロイストメンバー。2011年~2018年まで島村テニカルアカデミー(旧代官山音楽院)にて講師を務める。アボヤン道ギターフェスティバルアートディレクター。

ピアノ 中島剛 GO NAKAJIMA



東邦音楽大学を首席で卒業。第64回読売新人演奏会出演。1996年からハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。ウィーンでのピアノ・リサイタルなどを経て、2002年ウィーンを訪問された天皇皇后両陛下への歓迎レセプションで、ウィーンの若き音楽家の一人として紹介された。CHANEL NEXUS HALLにてCHANEL Pygmalion Days(2005年)、坂本龍一プロデュース「ロハスクラシック・コンサート2006」などへの参加をはじめ、多くのリサイタルを開催し常に好評を博している。またジョン・健・ヌッツォ、ウィーン・フィル コンサートマスター ライナー・キューヘル、ソプラノ唐澤まゆ子、マリナ池上英樹、ソプラノ柴田智子、ウィーン・フィルトーマス ウィンクラット、バンドネオン三浦一馬、神奈川フィルソロコンサートマスター石田泰尚の各氏などと共演するほか、ヴァイオリンMASAKIの録音に参加しCDをリリース。2008年には自身のFirst Album「SUMMER SKETCH」をリリースしている。日本各地での演奏活動のほか、『ショコラ マリア・カラス』ではソプラノ柴田智子氏、浅倉大介氏と共演、演奏と役者を演じ、アトリエタンカンプロデュース、ミュージカル「カルテット」(2012年4月)に出演。森山良子Ryoko Classicsツアーにて共演。またJ-WAVE『ロハストーク』(2010年1月)に出演するなど、多岐に亘る活動を展開、今後ますます期待される注目のアーティストである。
現在、東邦音楽大学講師 中島剛公式サイト <http://www.go-nakajima.com>

ふれあいコンサート

バス 杉尾 真吾 SHINGO SUGIO



秩父市出身。秩父第一中学校卒業、秩父高等学校卒業。武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第48回イタリア声楽コンクール シエナ大賞(第1位)東京国際声楽コンクール新進気鋭声楽家部門第3位受賞。在学時に学内選抜演奏会に多数出演。また同大学オペラコースにて連続して主役に抜擢される。在学時に芸能界にスカウトされ、ミュージカル《グランドホテル》ヴィット役、TBS制作ドラマ《IQ246》、フジテレビ制作《芸能人特技王決定戦 TEPPEN》など多数出演。2018年より、オペラ歌手として復帰し《ナブッコ》ザッカーリア役にて再デビュー。それを皮切りに《セヴィリアの理髪師》ドン・パジリオ役、《ラ・ボエーム》コッリーネ役など数多くのオペラやコンサートに出演。今後も《マクベス》バンコー役、《リゴレット》スバラフチーレ役、日本オペラ協会公演《紅天女》帝役など次々とバス役での主要キャストでの出演が決定している。故・若林浩子、谷友博、横山修司、カルロ・コロンバラ、アルベルト・クビード、各氏に師事。藤原歌劇団所属。

ソプラノ 相原 里美 SATOMI AIHARA



東京都出身。武蔵野音楽大学声楽学部卒業、同大学大学院修士課程ヴィルトゥオーソコース声楽専攻を首席で修了。第68回読売新聞社主催全日本学生音楽コンクール声楽部門大学の部にて東京大会、全国大会ともに第1位を受賞し甲子園や東京ドームで国歌斉唱を務める。第5回ジュリアード音楽院声楽オーディションby IFACにて最優秀賞受賞。2017年秋より1年間さわかみオペラ芸術振興財団の奨学生としてイタリアのトリエステ、ポローニャにて研鑽を積む。

ピアノ 中野 裕子 YUKO NAKANO



武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学大学院修了。2013、15、16年ポーランド国立ショパン音楽大学ピアノセミナーを受講、ディプロマを取得。教授推薦による修了コンサートに出演。2018年『楽興の時in中津 ピアニストのための室内楽セミナー』を受講。NHK交響楽団コンサートマスター篠崎史紀氏・元九州交響楽団首席チェロ奏者の原田哲男氏とピアノ三重奏を共演する。これまでに、ピアノを小出石勝子、山下満子、田中美江、堺康馬、K.ゲキチ、J.ロマンワクの各氏に師事。